学校番号	3 1 3
于 (大田 万	010

令和3年度 美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2 単位	年次	2年次	
使用教科書	「高校美術 2」 (日本文教出版)							
副教材等	なし							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・自らの手作業を通して創造の素晴らしさを学ぶ「彫刻・立体」。自らのイメージを色彩と構図によって表現する 「絵画」。伝達手段としての表現方法を模索する「平面デザイン」。この3つを学習の柱として授業を進めてい きます。
- ・作品の完成度だけで無く、制作に取り組む姿勢を重視します。
- ・他者の作品を鑑賞することで、より表現の幅を広げ、また創作活動の難しさと素晴らしさを知ることで、創造力 を豊かな人間性を育んで貰えたらと考えています。

2 学習の到達目標

美術の創作活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、芸術活動全般についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	C: 創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造的活動の喜び を味わい、多様な表現方 法に関心をもって、主体 的に表現や鑑賞の創造的 活動に取り組もうとす る。	参考作品から感性や創造 力を働かせ、その美しさ や機能性を感じ取り、感 性を働かせながら、自ら の意図に基づいて構想 し、表現を工夫している。	創造的な表現をするため に、各種用具の適切な使 用方法を学び、表現の手 段としての技能を身に付 けている。	身の回りにある美術作品の表現の工夫や美術文化等を理解し、その美しさや機能を創造的に味わっている。
評価方法	作業の態度 ワークシート 作品	作業の態度 ワークシート 作品	作業の態度 作品	鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

	の活動	主な評価の観点						
学期	題材名	学習内容	a	b	С	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期	立方体の中に球体を作る	「彫刻」 ・液晶プロジェクターによる課題説明。 石膏の粉末を水に溶かし、立方体の型枠に入れ固める。 取り出した石膏の塊から彫刻刀を用いて、立方体の外枠を残し、中央に球体を掘る。 耐水ペーパーで表面を研磨。	0	0			a: 1 年次に学んだ石膏技法を基に、より高度な技術を用いて完成度の高い作品を制作しようとしている。 b: 色彩を用いず石膏の質感だけで自らのイメージを表現しようとしている。立体作品として、バランスをとりあらゆる角度からの鑑賞に堪える表現を追及しようとしている。	作業状況の観察
	サンドブラストによるグラスの制作	[デザイン] ・液晶プロジェクターによる課題説明。 「ユニットとパターン」を制作テーマに、市販のポイントシールを用いてグラスの表面に幾何学模様をデザインし、サンドブラストでコップに文字や図案を彫り込む。 水彩絵の具で彩色する。	0	0			a: 1年次に学んだサンドブラスト技法をより発展させ、独創性のある作品を制作しようとしている。 b:制作テーマに沿って、より独自の発想や感性を働かせ、オリジナリティ溢れる作品を制作しようとしている。	提出作品 作業状況の 観察 提出作品
	作品展鑑賞	「鑑賞」 ・「大阪府高等学校美術・工芸展」の鑑賞 ・「ゆうかり展(八尾高校美術部 OB, OG 作品展)」の鑑賞	0			0	a:他者の作品を鑑賞することで制作のモチベーションに繋げようとしている。 d:他者の作品から表現の多様性や工夫を感じ取ろうとしている。	レポート

後期	切り絵による静物画	[絵画] ・液晶プロジェクターによる課題説明。 静物スケッチから原画を作成し、独自のアレンジを加えて切り絵を制作する。 台紙に色鉛筆で彩色後、ラミネートを施す。	0		0		a: 切り絵の持つ独自の表現効果を理解し、自らの作品に積極的に活かしていこうとしている。 c:ペン型ナイフの機能を理解し、自分の作品に積極的に活用しようとしている。	作業状況の 観察 提出作品
	スタンプ版画	 デザイン] ・液晶プロジェクターによる課題説明。 5 c m角の板に幾何形体を彫り、スタンプのように用いて縦横合計16の集合版画を制作する。4回彫り進み、各版2色刷り、計のべ8色の多色刷り木版画を制作する。 	0		0		a:版画の持つ表現効果を理解し、一つの形態が複数集合することで新しい表現に繋がっていく可能性を追求しようとしている。 c:彫刻刀の高度な使用方法を学び、木版独特の「かすれ」や「にじみ」を習得しようとしている。	作業状況の 観察 提出作品
	絵文字	[デザイン] ・液晶プロジェクターによる課題説明。 任意の漢字2文字(2字熟語)を設定し、その漢字の一部分を絵に変換することで、本来持っている漢字の意味をより強調する作品を制作する。	0	0			a:自らのイメージを色彩とイ ラストにより表現しようと する態度。 b:テーマを基に創造力や感性 を働かせ、独自の発想を追及 し、作品の完成度を高めよう とする態度。	作業状況の 観察 ワークシート 提出作品
	作品展鑑賞	[鑑賞] ・「第39回中央ブロック高校美術・工芸展」の鑑賞	0			0	a:他者の作品を鑑賞することで制作のモチベーションに繋げようとしている。 d:他者の作品から表現の多様性や工夫を感じ取ろうとしている。	レポート

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:発想や構想の能力 c:創造的な技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。